

<①高校生>



インタビューテーマ

1 大船渡市の強み（自慢できる点、好きな点など）弱み（課題や不安な点など）について

【強み】

- ・食べ物が美味しい（海鮮、かもめの玉子など）。世界有数の漁場が生む海産物が魅力。
- ・海の幸が豊富。また、林野火災の際に避難所が充実していて、災害に強いと感じた。
- ・サンマなど、海産物が美味しい。
- ・自然が豊かで暮らしやすい。夏は暑すぎず、冬は雪が少ない。
- ・海の幸、かもめの玉子など、魅力がはっきりしているため、売り出す方向性が明確で良さに気付きやすい。
- ・水産業が豊かなところ。
- ・特産品が美味しい。また、大船渡温泉の露天風呂からの夕焼け等、景色が美しい。
- ・海に面し温暖な気候で暮らしやすい。また、キャッセンを中心に観光客が集まり、イベントが多く開催されている。
- ・五年祭や産業まつりなど地域のお祭りが華やかで人で賑わう。
- ・新鮮な海産物が多い。サンマまつりのようなイベントも魅力。
- ・新鮮な海鮮が採れるところ。特にアワビやウニなど、高級なもの。
- ・キャンプ場が山と海が両方見えて魅力的。

【弱み】

- ・PR 不足、情報発信力不足。市の Instagram や X を見えていても、地元の良さを感じられる発信が届いていないと感じる。
- ・交通機関があまり充実していない。街中を歩いていても観光客を見かけることが少ない。

- ・海ばかりに注目が集まり、山（五葉山や温泉）への注目が足りない。また、市街地（キャッセン）以外は人が少ない。
- ・交通の利便性が悪い。
- ・公共交通の不便さ。将来住むときの買い物や移動手段、免許返納後の高齢者の足などに不安を感じる。
- ・娯楽がない。カラオケがなく、他市（気仙沼、釜石、仙台）に遊びに行ってしまう。
- ・娯楽が足りない。周辺地域からも人が集まるような建物（ラウンドワンのような施設）があれば、日常的に観光客が集まるのでは。
- ・将来、自然豊かで綺麗な景観が開発や災害で失われるのではないかと不安を感じる。
- ・地域と連携した活動や学校での活動をアピールしきれていない。
- ・交通の便が一番の課題。自宅から駅まで遠く、車がないと不便。
- ・祭りなどで観光客は呼べるが、住む人が少ない。少子高齢化が進んでいるのが課題。

2 まちを良くするために行政に期待すること

- ・市の情報発信力・PR 不足を改善し、魅力的な大船渡をブランド化するような取組をしてほしい。
- ・赤崎グラウンド周辺やキャッセン周辺などの市街地で空き地が目立っているため、何かに活用してほしい。
- ・林野火災で焼失した場所への植林など、復興に向けた取組も進めてほしい。
- ・市街地に出没するクマ対策。自転車通学をしていて不安を感じる。
- ・伝統芸能の担い手不足。若い人も含めて、皆が携われる形での運営が必要だと思う。
- ・ペットボトルの家庭ごみ収集の仕組みを作してほしい。スーパーに持ち込まず、家庭からごみ収集を行うようにしてほしい。
- ・市営球場の整備。少年野球の県大会等も開催されるため、もっと立派にしてほしい。
- ・市の PR に関連して、大船渡市の公式 LINE をもっと市民に広めてほしい。
- ・太陽光や風力発電などの開発と自然保護のバランスを取ってほしい。山を切り崩すことが海や水産業への影響につながる。
- ・高齢者が多く、保守的な雰囲気を感じるため、移住者など外からの人や新しい文化を積極的に受け入れてほしい。
- ・市民と行政の距離が近いという大船渡の良さを生かし、市民の純粋な意見や要望をもっと吸い上げてほしい。
- ・盛駅周辺が衰退している。サンリアや商店街をもっと活用してほしい。
- ・近くの公園の遊具が老朽化で撤去され、鉄棒しか残っていない。小学生が喜ぶような、新しい遊具（ブランコなど）を設置してほしい。・赤崎グラウンド周辺の空き地を、子どもたちが利用できる施設として活用してほしい。近くに小中学校があり子供たちが多いため。
- ・野菜や草花が鹿に食べられてしまう害獣対策をしてほしい。
- ・Instagram や X 等を用いた「時代に沿った SNS での PR」をしてほしい。世界中へ動画等を発信することで、より多くの人の目に留まるようになるため、その他の地域課題の解決にもつながるのではないかな。
- ・スポーツ大会や料理教室等を開催し、子どもから高齢者まで世代を超えて交流できる機会やイベントを増やして、地域活性化を目指してほしい。
- ・外からの意見や他の地域の情報をもっと取り入れて、若い人を集めてほしい。
- ・食物文化科を存続させてほしい。
- ・海の活用方法として、海産物以外に、漁港の防波堤での釣りや船の活用、吉浜海岸でのサーフィンなど、海を「マリンアクティビティ」として活用し、市の PR や市民の娯楽につなげてほしい。
- ・歩道の段差を直してほしい。盛駅周辺の歩道は整備されているものの、三陸町方面などはまだ整備が途中のように感じており、自転車通学をしていると荷物が落ちそうになる。

3 将来こうあってほしい大船渡

- ・食文化や漁場、伝統文化等が融合した「観光と文化の融合」が生まれるまちになってほしい。
- ・就職環境や高齢者支援を整え、若人が残りたくなるまちであってほしい。
- ・地元の企業が盛り上がるまち。三陸ビールなどの新しい名物や商品を支援して、他県の人にも来てもらえるようになってほしい。

- ・震災と林野火災の2つの経験をしっかり伝え、防災や減災の意識が続くまちであってほしい。
- ・大船渡の素朴さや伝統と新しさが融合したまち。もっと新しいことを取り入れる、オープンな市であってほしい。
- ・一度大船渡を出た若い人が戻ってきた時「いいまちだな」と思えるまち。
- ・大船渡東高校の各学科の魅力を高め、県外からも入学したいと思えるように、学校を盛り上げてほしい。
- ・大船渡東高校太鼓部の発表や体験など、文化に触れてもらえる機会があるまち。
- ・健康寿命を延ばすための講演会等を開き、高齢者が元気で過ごせるまち。糖尿病問題の解決が重要だと思う。
- ・進学等で市外に出た人が戻りたいと思えるような職場や働き口があるまち。災害の経験が語り継がれ、忘れられないまち。
- ・観光客がたくさん訪れ、ずっと住んでいたいと思ってもらえるまち。
- ・椿の栽培や吉浜の自然など、もっと自然を生かしたまちにしてほしい。

4 フリートーク

- ・市内の高校生ができる、大船渡や学校の良さを伝えるPRについてアドバイスがほしい。ポスター制作だけでは、十分にPRできないと感じている。
- ・子どもが減少していくことに対する市の対策を教えてほしい。
- ・熊の被害や鹿の食害など、獣害対策について市の協力を得たい。
- ・若者との対話を踏まえ、市長が最初に進めたいことは何か。
- ・学校の文化祭や太鼓部の発表会などを市のSNS等で宣伝してほしい。
- ・オープンな市になってほしい中で、外国と関わるビジョンはあるか。